

琴水チャンネル



月一回 田人クリーン活動

先月からスタートした田人クリーン活動。一回目は田人支所周辺と県道勿来浅川線沿いのごみ拾いを行いました。普段何気なく通っている道ですが、予想以上のごみの量に大変驚きました。人目の少ない場所だからこそごみが溢れているのが現状です。長くこの活動を続け、田人町をきれいにしていきたいと思えました。



当日は、20人以上の方々を集まって頂き、コミュニケーションをとりながら、朝から良い運動にもなり、身も心もすっきりした時間でした。毎月第二日曜日の朝7時〜9時まで継続して行う予定です！皆さんの参加ぜひお待ちしております。次回の清掃場所は貝泊地区です！詳細は右下の通りです。

ひとたび 秋の飽きないメニュー始めます。

9月から営業再開したひとたびですが、秋の食材を使って日々メニュー開発に励んでおります。田人のこんな食材使ったらどうでしょう！みたいな声沢山待ってます。そして今さつまいもを田人です。探しております。何か情報ありましたらよろしくお願い致します。

10月たびとクリーン活動情報

【日時】
10月10日(日)
朝7時〜9時

【集合場所と集合時間】

貝泊大橋下の空き地
※山火事用心の横断幕が目印
7時に集合をお願いします！

【10月の清掃場所】

国道289号線貝泊大橋下
【持ち物】
水分補給できるもの

【事務局】

地域おこし協力隊 倉島
電話：0246-6912111
※ゴミ袋や軍手、ほうき、ちりとりなどはこちらで用意しております！
※雨天中止

一年半後の協力隊卒業に向けて、

早いもので田人に来て、あと一ヶ月で一年が経とうとしています。それと同時に地域おこし協力隊としていられるのがあと一年半となりました。今の私の目標は、地域の方々と前任の協力隊（館野直歩さん）が立ち上げ、ここまで沢山の皆さんが繋いでくれたひとたびを引き継いでいきたいと考えております。今のカフェ事業に加えて、ゲストハウス（簡易宿泊施設）の経営、常に灯りがある夜の町の人のたまり場、マップ等を取り揃えた観光案内所そんな場所にできたならと考えています。多様な価値観に出会う場所、田人、いわきを好きになってもらえるきっかけの場所にしていくのが目標です。今考える自分の将来が皆様に伝われば嬉しいです。今後ともよろしくお願いいたします。



折り返し地点、来ましたが、残り半分もそれから、頑張ります！

田人町地域おこし協力隊に着任して一年半が経過しました！

田人の皆様には、日頃から、僕ら協力隊の活動に多大なるご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございます。ご存じの方も多いと思いますが、協力隊は3年という任期付きの仕事であり、僕は令和5年3月31日まで協力隊として活動予定です。

着任当初からお伝えしていますが、僕は卒業後も子ども預かりを継続させて、田人に住みたいと考えています！今回はその目標に向けて進めている事についてご説明します！

一つ目は「ふくしま復興・創生塾」への参加です。これは東日本大震災以降、福島での起業を考えている方々向けの起業支援研修プログラムです。このプログラムに参加することで、今の子ども預かり事業をブラッシュアップする一方で、新しい事業案についても模索します。子ども預かりは市から認可を受けて委託金をもらう予定ですが、それだけでは足りない部分を新規事業で補填しようと考えています。



二つ目は「空き家探し」です。現在、子ども預かりはHITOTONABERで行っています。認可を受けたいための条件に引っかかってしまうため、新しい場所を探しています。自分の住居も同様に探しています。

理想としては、学校から歩いて通える距離で自宅兼預かり場所となる物件を探しており、現在は黒田、出旅人の方を中心にお声がけさせて頂いております。お忙しい合間を縫って持ち主の方に話して頂いたり、本当にありがとうございます！

「空き家はあるけど荷物結構残っている」というお声を沢山いただきました。荷物の整理・片付けなど自分でできることなら、喜んでやらせて頂きます！
どんな些細な情報でも構いません。空き家情報、お待ちしております！



「あ、わー！」と、ここまで追いかけ、用水路のそばに、猫も出てきました。笑

After 窓サッシや、防水シートを取り付けたことでそれっぽく家感が出てきました。



Before 8月5日の上棟式時では、まだまだ柱だけの家でした。

お盆明けから本格的に始まった基地整備ですが、9月に入り常駐でボランティアが1名来てくれたお陰でかなり作業がはかどりました！

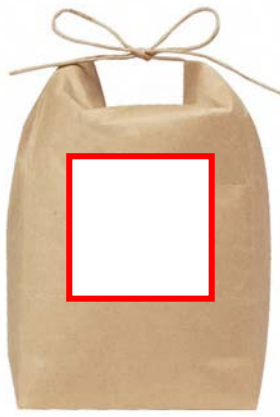


大工さんからアドバイスをいただいているものの、ど素人初心者のお家づくりなので、参考書や動画を見て現場で悩みながら建ててます。笑
最近では、町内外の沢山の方がお手伝いに来てくださり、わいわいがやがや楽しく作業をしております。



田人小中学校コラボブランド米「希望の一粒」順調に生育中！

田人小中学校コラボのブランド米ですが、お米も順調に育っております。また、中学生が授業の中で悩みのパッケージも現在選考中です。



完成イメージ ※赤枠に選ばれた中学生の作品が載ります！

パッケージの発表会は、10月中旬に中学生全学年合同授業にて行われます。学校での発表後、はるはるでも掲載をさせていただきましますので、お楽しみください！



このコラムは、田人の住民を、楽しく紹介し、田人の輪を広げよう！といった企画です。前回インタビューにご協力頂きました油座盛明さんのご紹介で今回は緑川純一さんです！
琴水が楽しく担当させて頂きました。

入旅人にお住まいの、緑川純一（みどり）さん（じゅんいち）さん。「旅人やさい館289」の代表としても活躍されている純一さんですが、今回は学生時代の思い出と田人の未来について色々お話ししました。純一さんは、入旅人分校を卒業後、同級生15人と共に、田人中学校に入学。今は綺麗に舗装されている道路ですが、車が通れるようになったのは純一さんが中学一年生の頃。ただ、幅も車がやっと通れるほど。一時間かけて毎日歩いて皆で登校されていたそうです。

純一さんが楽しそうに話されていたのが登校時のエピソードです。当時、悪ガキ親分が学校にいたそうで、率いられて朝皆で登校している時に柿やも泥棒をして持ち主に見つかり下から棒でつかれたり、上から小便かけられたり、他にも山でいたずらしたり、かなり遊んでから学校に行っていたようです。「一校時が終わったあとに学校に到着、二校時は校長室の前に立たされ、三校時目から授業を受ける日もあったんだ」と楽しそうにお話されていました。そして、純一さんのお宅は昔こんにやく農家だったそうで、「家で作ったこんにやくを勝手に持ち出して、登校中に売って、そのお金で、帰りにお菓子やソーセージを買ったんだ」と話されました。今では考えられない最高の青春物語です。田人だからこその最高の青春物語です。山での遊びも藤蔓を切ってブランコを作って遊んだり、山で走り回ったりしていたそうです。今のようにスマホはもちろん、テレビもゲーム

もない時代に、自分で考えて遊びを見つけているのがどんなに楽しかっただろう、と純一さんの笑顔を見て思いました。最後に田人の未来についてお話を伺いました。地域活性化、地域維持のためには若い人達の力が必要不可欠。色々なことに関心をもち、交流し、思いや伝統、事業を将来的に継承し、田人の未来が明るいものであってほしいと強く語って頂きました。

途中から奥様もお話に参加していただき、楽しく雑談もしながらあっという間に時間が過ぎてしまいました。いつも大変お世話になって純一さんと色々お話できてとても嬉しかったです。貴重なお時間ありがとうございました。

次回はしもさんが担当です。お楽しみに！



HITO-TABI ひとたび通信

【10月】営業日 水木金土
時間 11:00~15:00

秋メニュー少しずつ始まっています！
9月にスタートしたのが
秋の飽きないパフェ～梨編～です！
お待ちしております♪